県内企業景気動向調査報告（２０２６年７～９月期）

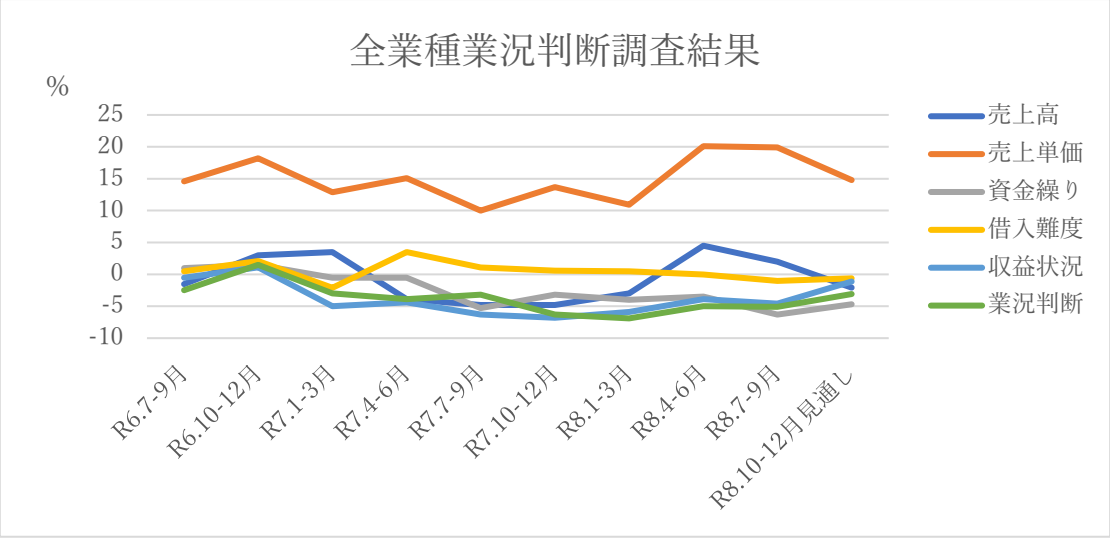
今期の「業況判断」は下降、来期も下降する見通し

調査対象　鳥取県内企業（鳥取県下４商工会議所の調査による）
回 収 数　99 社【製造業 23 社、非製造業 76 社（建設業 21 社、卸売業 19 社、小売業 21 社、サービス業 15 社)】

＜今期・来期の状況＞

全業種における今期の状況は、すべての項目で下降している。最も大きく変動したのは「資金繰り」で、前期から 2.8 ポイント下降した。業種別の「業況判断」では、製造業が上昇、非製造業が 0.1 ポイントの下降を示した。非製造業は卸売業と小売業が上昇、建設業とサービス業が下降となり、最も変動が大きかったのはサービス業で、前期から 5.7 ポイントの下降となっている。

全業種の来期の見通しについては、「資金繰り」「借入難度」「収益状況」「業況判断」で上昇、「売上高」「売上単価」で下降が見込まれている。業種別の「業況判断」では、建設業とサービス業が上昇、製造業と卸売業と小売業については下降が見込まれており、最も変化が大きいと予測されているのは建設業の 4.8 ポイントの上昇であった。



前年同期比＊（ ）内は2025. 7～9月期の数字　　来期（2026. 10～12期）見通し＊（ ）内は前年同期の数字

	回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断
全産業合計	99	2.0 （ -4.8 ）	19.9 （ 10.0 ）	-6.3 （ -5.3 ）	-1.0 （ 1.1 ）	-4.6 （ -6.3 ）	-5.1 （ -3.2 ）	-2.1 （ 0.0 ）	14.8 （ -4.8 ）	-4.7 （ -4.8 ）	-0.6 （ 1.6 ）	-1.1 （ -7.9 ）	-3.1 （ -7.9 ）
製造業	23	10.9 （ 6.3 ）	24.0 （ 8.4 ）	-8.7 （ -8.4 ）	-2.2 （ 2.1 ）	2.2 （ 4.2 ）	2.2 （ 2.1 ）	10.9 （ 2.1 ）	19.6 （ 6.3 ）	-6.5 （ -8.4 ）	-2.2 （ 0.0 ）	4.4 （ -6.3 ）	0.0 （ -6.3 ）
非製造業	76	-0.7 （ -8.5 ）	18.7 （ 10.6 ）	-5.5 （ -4.3 ）	-0.7 （ 0.8 ）	-6.7 （ -9.9 ）	-7.3 （ -5.0 ）	-6.1 （ -0.8 ）	13.4 （ -8.5 ）	-4.2 （ -3.6 ）	0.0 （ 2.2 ）	-2.7 （ -8.5 ）	-4.0 （ -8.5 ）
（建設業）	21	2.4 （ 2.5 ）	21.5 （ 10.0 ）	0.0 （ 0.0 ）	9.5 （ 5.0 ）	-9.6 （ 5.0 ）	-7.2 （ 10.0 ）	-4.8 （ 7.5 ）	14.3 （ 2.5 ）	2.4 （ 2.5 ）	7.1 （ 5.0 ）	-2.4 （ 2.5 ）	-2.4 （ 2.5 ）
（卸売業）	19	2.8 （ -5.9 ）	25.0 （ 17.7 ）	-5.6 （ -3.0 ）	0.0 （ -3.0 ）	2.8 （ -11.8 ）	-2.8 （ -5.9 ）	-11.2 （ -3.0 ）	16.7 （ -5.9 ）	-2.8 （ 0.0 ）	2.8 （ 0.0 ）	0.0 （ -8.8 ）	-2.8 （ -8.8 ）
（小売業）	21	-7.2 （ -19.5 ）	11.9 （ 13.9 ）	-9.5 （ -13.9 ）	-7.2 （ -2.8 ）	-9.5 （ -25.0 ）	-7.2 （ -13.9 ）	-4.8 （ -2.8 ）	11.9 （ -19.5 ）	-9.5 （ -11.1 ）	-4.8 （ 0.0 ）	0.0 （ -22.2 ）	-7.9 （ -23.6 ）
（サービス業）	15	0.0 （ -12.5 ）	16.7 （ 0.0 ）	-7.7 （ 0.0 ）	-7.7 （ 3.6 ）	-10.0 （ -9.4 ）	-13.4 （ -12.5 ）	-3.6 （ -6.3 ）	10.0 （ -12.5 ）	-7.7 （ -6.7 ）	-7.7 （ 3.6 ）	-10.0 （ -6.3 ）	-10.0 （ -9.4 ）

BSI＝1/2(X－Z)、X＝上昇・増加、Y＝横ばい、Z＝減少・下降、ただし(X＋Y＋Z＝100)

＜直面している経営上の問題点＞

1位：原材料・仕入価格上昇（22.66%）
2位：経費の増加（16.91%）
3位：人手不足（14.39%）
4位：消費・需要の停滞（11.15%）
5位：売上・受注の減少（10.43%）

＜業種別の問題点等＞

◆建設業
・原材料が半年ごとに上がる状況で、それに伴う売り上げ単価が追い付かない。10月から電気代等も値上がりしてくる状況で、ますます経営的にも困難になる。
・東部への公共工事発注の増加を望む。

◆製造業
・製造コストの上昇、もしくは高止まりは相変わらず頭の痛い問題ですが、不正アクセスへの対策も急務となってきました。
・大企業の好景気や従業員の採用等と比較し、中小企業では厳しい状況が継続している。
・外廻りをしていて実感ですが、全体的に景気は良くない。やはり物価高の影響が大きく感じます。円安が止まらない(150円以下)と景気は上がらない気がします。家庭の買い物でもそれは感じます。今まで２個買っていたものを１個にするとか、質を落としたものになるとか・・・。米子も他の市町村のように大手企業の誘致を積極的におこなわなければ商売はなりたちません。みな隣県に人も仕事も流れていきます。
・代金回収の遅延や仕入価格の上昇など業況判断は好転しているとはいえない。大きく悪化もしていない。
・経費アップを販売価格に反映できず利益確保が困難な状況が続いている。

◆卸売業
・商品の入荷遅れ。

◆サービス業
・来期は見通しがつかない。人の流れ、通り（サンロード）の状況が変わってきている。食材の高騰の影響なのかと考える。